

# 令和8年第1回（1月）筑紫野市議会臨時会

## 【予算審査常任委員会 委員長報告】

議案第1号 令和7年度筑紫野市一般会計補正予算（第8号）の件について、その審査の経過と結果をご報告いたします。

本件の主な内容は、物価高騰の影響を受ける市民や事業者を支援するため、「食料品等物価高騰支援給付金支給事業」や、「地域密着型介護サービス事業者物価高騰対策事業」、「物価高対応子育て応援手当支給事業」などを増額するものであり、歳入歳出それぞれ12億2,177万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を457億7,699万6千円とするものです。

委員会では、今回の5事業を選定した理由は、との質疑があり、執行部からは、市民に対する支給事業については、物価高騰の影響を受ける対象の方々へ、一刻も早く支援を届けることが出来るよう、本臨時議会にて提案しているものであり、介護、福祉、保育事業者への支援については、県により県管轄の施設等へ、本年度中に支援する方針が示されているため、足並みを揃えられるよう実施するものである、との答弁がありました。

また、一委員から、「食料品等物価高騰支援給付金支給事業」に関し、財政調整基金を活用するに至った経緯は、との質疑があり、国の交付金を活用して事業を行うところであるが、食料品特別加算の配分額では、生活者への支援が十分ではないと考え、財政状況を十分に勘案したうえで、財政調整基金を取り崩すこととした、との答

弁がありました。

また、一委員から、「物価高対応子育て応援手当支給事業」に関し、別居やDV被害等、特別な事情がある家庭へはどのように配慮するのか、との質疑があり、執行部からは、離婚手続き中等含め、国から細かなパターン別のQ&Aが示されているため、対象者の状況を聞きながら、対応していきたいと考えているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。